

# 広島大学学術情報リポジトリ：評価と今後の活動

## Plan:

第1期中期目標「電子図書館機能を強化・充実し、図書館の教育・学習支援機能の向上を図る」の下に、平成17年より構築準備を行い、平成18年度に公開。

第2期では、中期目標「教育研究成果の普及を図る」に基づき、拡大を図る。

## Do: 活動実績

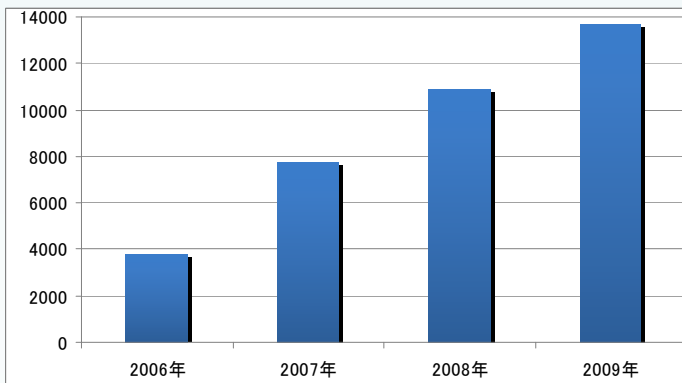
### ● 広島大学学術情報リポジトリの構築

- ◆ 2006年に広島大学学術情報リポジトリを構築
- ◆ 広島大学の学術成果を効果的に広範囲に発信できる

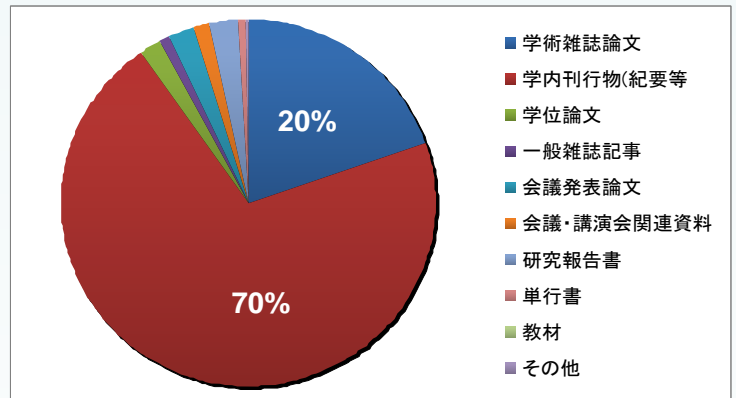
### ● 学術成果の収集・公開

- ◆ 学術雑誌論文、会議発表論文、会議発表資料、学内刊行物、研究報告書、学位論文といった多様な学術成果を収集
- ◆ 2010年2月現在の公開件数は約1万4000件(コレクションを除く)で、年間約3,000件のペースで増加

学術成果公開件数(累積)  
\*コレクションは除く



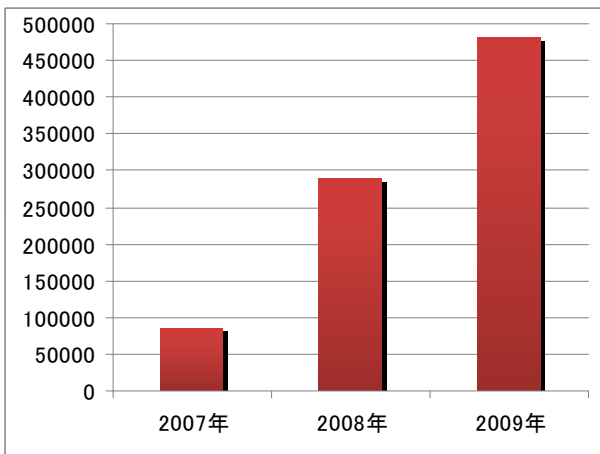
公開済みの学術成果(種類別) \*コレクションは除く



### ● 学術成果公開の効果

- ◆ 無料公開のため、インターネットに接続できれば誰でも自由にアクセスすることが可能
- ◆ 世界中の研究者や学生、一般の方、企業、マスコミ関係者、入学希望者等にも学術成果を提供可能
- ◆ ダウンロード件数は、2007年は約8万5,000件、2009年には5.6倍の約48万件に増加

学術成果ダウンロード件数



ダウンロード数上位タイトル(2009年)

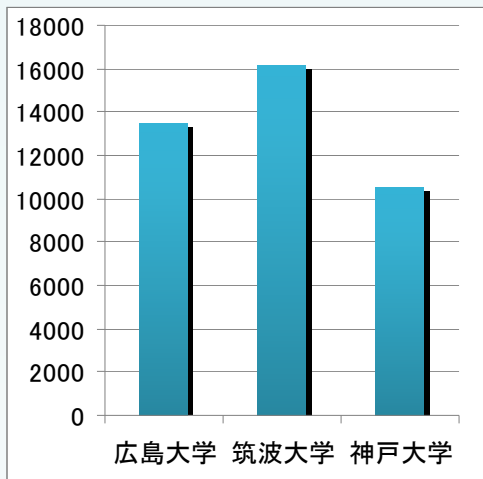
タイトル	DL数
改良Zancolli分類による頸髄損傷者のADL自立の可能性	3,679
化学ポテンシャルと平衡定数	3,016
衝突頻度と平均自由工程	2,478
精神分裂病女性患者の体内水分量に関する研究	2,287
国際生活機能分類と21世紀のリハビリテーション	2,172
磁気モーメントとg値	2,153
順序尺度データにおける多様な多重比較法	2,055
オストメイトのストーマ受容度とセルフケア状況およびストーマ受容影響要因との関連性	1,751
電磁気学における単位系	1,615
ZoneII屈筋腱断裂修復後の後療法の特徴に関する一考察	1,515
カチオン界面活性剤とノニオン界面活性剤混合系の洗浄性	1,460
La Commedia dell'arte et le the'atre de Marivaux	1,448
物体の速度と物質波の速度: E=hνの本質的理解	1,344
歳差運動の物理学	1,343
高齢者における立位バランスと認知課題処理能力の関係について	1,269
下顎骨のびまん性硬化性骨髄炎の病態に関する研究	1,122
家庭における重度失語症者と家族のコミュニケーションに見られる困難とその解決について	1,112
看護学領域における質的研究方法について	1,112
発光スペクトル強度と励起分子数の関係	1,109
食卓で学ぶ甲殻類のからだのつくり:エビ・カニ・シヤコ類の教材化に関する研究	1,066
ベクトルの外積に関する考察:その概念の広がりや教材性に関して	1,003

# Check: 評価

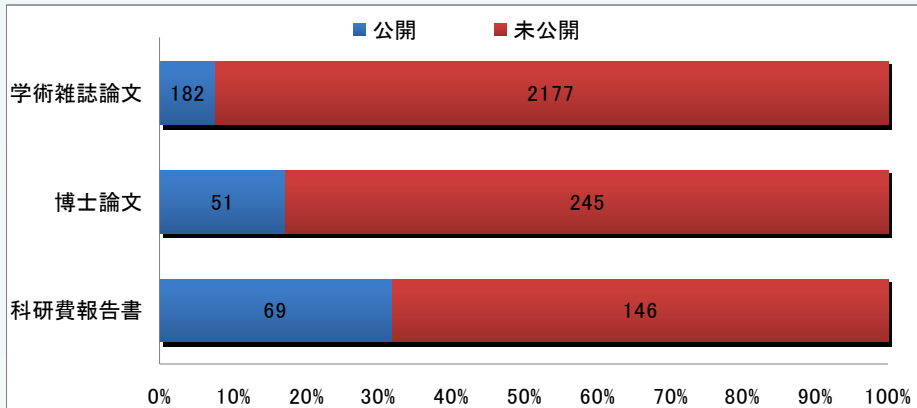
## ● 学術成果の公開数と捕捉率

- ◆ 公開済みの学術成果は2010年2月現在で2万294件で、同規模の他大学と比較すると少なくはない
- ◆ 学術成果総数に対する公開数を計算した捕捉率では、学術雑誌論文で10%以下、博士論文で14.7%、科研費報告書でも37%程度にとどまる

学術成果公開件数の比較  
(2010年2月末現在)



学術成果の捕捉率



各数値は下記から総数を算出し、それを100%として計算している。  
学術雑誌論文：研究者総覧データベース(出版年：2007.4-2008.3)  
博士論文数は広島大学学位論文データベース(学位取得：H20年度)  
科研費報告書：広島大学図書館OPAC(H20年度受入データ)

広島大学はコレクション、筑波大学は学位論文 内容・審査の要旨を除いた数

## ● 学術成果の公開にかかるコスト

- ◆ 成果物をスキャンしてPDFファイルを作成するための電子化費用
- ◆ 論文などの調査、著作権の確認、ファイル作成・変換、データの作成・登録作業に必要な人件費

学術成果公開にかかるコスト  
(H21年度実績)

区分	作業	費用
電子化	PDFファイル作成	750
人件費	論文調査	261
	著作権確認	187
	ファイル作成・変換	851
	データ作成・登録	422
合計		2,471

### H21年度実績

- ◆ 電子化費用と人件費で約247万円
- ◆ そのほとんどを外部資金で負担

学術成果を積極的に収集し、継続的な活動を行うためには、学内予算の継続的な措置が必要

# Action: 次期中期計画の達成に向けて

## ● 広島大学の教育成果の登録率の向上

- ◆ **アピール**：学術成果公開による効果のアピールと、研究者へのフィードバック
- ◆ **研究者への働きかけ**：学術成果公開が果たす役割とメリットの理解と登録促進
- ◆ **登録の制度化**：博士論文・紀要などの学内刊行物を始めとする登録の制度化促進